

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 3 月 7 日 (2013.3.7)

【公表番号】特表 2012-515794 (P2012-515794A)

【公表日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報 2012-027

【出願番号】特願 2011-548156 (P2011-548156)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/585 (2006.01)

A 6 1 K 38/23 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/585 Z N A

A 6 1 K 37/30

A 6 1 K 37/24

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 21 日 (2013.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3 3 アミノ酸ペプチドであって、サケまたはウナギ カルシトニンあるいはヒト アミリンではなく、該ペプチドの 2 - 3 3 位を構成する 3 2 個のアミノ酸が配列番号 1 の 1 - 3 2 位を構成する 3 2 個のアミノ酸と同一であるペプチド。

【請求項 2】

該ペプチドの 1 位がリジンであり、該ペプチドの 2 7 位がアスパラギン酸であり、該ペプチドの 2 8 位がバリンであり、該ペプチドの 3 0 位がアラニンであり、該ペプチドの 3 1 位がアスパラギンであり、該ペプチドの 3 3 位がアミド化チロシンである、請求項 1 記載のペプチド。

【請求項 3】

そのアミノ酸配列が配列番号 1 に対して少なくとも 9 3 パーセント同一であるペプチドであって、ウナギまたはサケ カルシトニンあるいはヒト アミリンではなく、2 - 3 0 位が配列番号 1 の 2 - 3 0 位と同一であり、2 6 位がアスパラギン酸であり、2 7 位がバリンであり、2 9 位がアラニンであり、3 0 位がアスパラギンであり、1 位が正電荷を減少するように修飾されているシステインである、ペプチド。

【請求項 4】

3 2 位がアミド化されたプロリンまたはアミド化されたチロシンである、請求項 3 記載のペプチド。

【請求項 5】

1 位のシステインがアセチルまたはスクシニルから選択された基で修飾されている、請求項 3 記載のペプチド。

【請求項 6】

配列番号 1 に示されるアミノ酸配列を有するペプチドであって、(i) 残基 26 がアスパラギンまたはアスパラギン酸のいずれかであってもよく、(i i) 残基 29 がセリンまたはアラニンのいずれかであってもよく、(i i i) 残基 30 がアスパラギンであるか、または残基 32 がチロシンである、ペプチド。

【請求項 7】

配列番号 14 に示されるアミノ酸配列を有するペプチド。

【請求項 8】

そのアミノ酸配列が配列番号 1 に対して少なくとも 90 パーセント同一であるペプチドであって、ウナギまたはサケ カルシトニンあるいはヒト アミリンではなく、2 - 10 位が配列番号 1 の 2 - 10 位と同一であり、12 - 17 位が配列番号 1 の 12 - 17 位と同一であり、19 - 21 位が配列番号 1 の 19 - 21 位と同一であり、23 - 32 位が配列番号 1 の 23 - 32 位と同一であり、1 位が正電荷を減少するように保護基で修飾されているシステインであり、26 位がアスパラギン酸であり、27 位がバリンであり、29 位がアラニンであり、30 位がアスパラギンであり、32 位がアセチル基を有するアミド化されたチロシンである、ペプチド。

【請求項 9】

1 位のシステインがアセチル基で修飾されている、請求項 8 記載のペプチド。

【請求項 10】

そのアミノ酸配列が配列番号 1 に対して少なくとも 93 パーセント同一であるペプチドであって、ウナギまたはサケ カルシトニンあるいはヒト アミリンではなく、2 - 32 位が配列番号 1 の 2 - 32 位と同一であり、1 位が正電荷を減少するように保護基で修飾されているシステインであり、26 位がアスパラギンであり、27 位がスレオニンであり、29 位がセリンであり、30 位がグリシンであり、32 位がアミド化されたプロリンである、ペプチド。

【請求項 11】

1 位のシステインがプロピオニルまたはスクシニルから選択された基で修飾されている、請求項 10 記載のペプチド。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載のペプチドを含む医薬組成物。

【請求項 13】

患者における体重超過状態または肥満を治療または予防するための、治療上有効量の請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載のペプチドまたは請求項 12 記載の医薬組成物。

【請求項 14】

患者における食欲を抑制するための、治療上有効量の請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載のペプチドまたは請求項 12 記載の医薬組成物。

【請求項 15】

患者における糖尿病を治療するための、治療上有効量の請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項記載のペプチドまたは請求項 12 記載の医薬組成物。